

カタルーニャ・クロッシング

カタルーニャと日本。人や企業、そして芸術、生活がクロスする現場を探ります。

第7回 アンジェルス・チャコン氏 (カタルーニャ州政府企業知識省 大臣)

第7回は、なんとカタルーニャ州政府の女性大臣の登場です。突然知らされた11月の来日に急遽スケジュールを申し込み、短時間ではありますがインタビューすることができました。チャコン大臣は、今回、バルセロナ港湾局や、州政府国土サステナビリティ省と共に、カタルーニャ-日本間の様々な経済交流の促進のためにミッション団を率いる形で来日しました。ここでは、AMICS読者の関心に合わせ、観光について話してもらいました。



AMICS まず今回の観光における来日の狙いからお聞かせください。

チャコン カタルーニャ州政府の観光産業を管轄する大臣として、アジア・パシフィックの観光業界関係者の方々に、カタルーニャ州政府観光局の各エリア・ディレクターを紹介し、来年以降のカタルーニャ観光活性化のための戦略をご説明し、ご協力をいただくためです。日本、中国、韓国、オーストラリア、シンガポール、インドがアジア・パシフィックのエリアとなります。合わせて11月にロンドンで開催されたITTA国際観光アワードで、私どもが制作したVR(仮想現実)ゲーム「レジェンド・オブ・カタルーニャ」が「旅行に関する優れた革新的テクノロジー部門」で銀賞をいただきましたので、そのご紹介もしています。

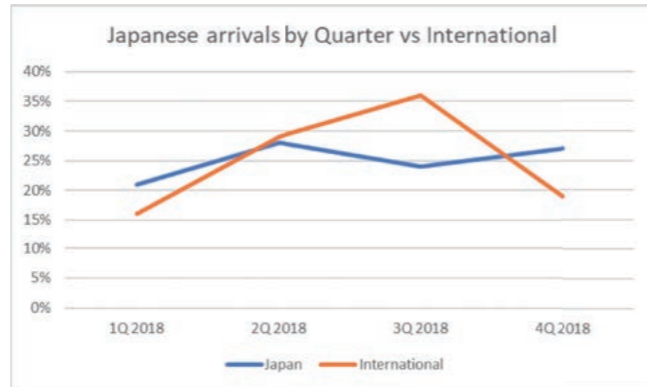
AMICS 今年度のカタルーニャ観光と日本からの観光客の現状はいかがですか？

チャコン 今年度の1月から9月の総観光客数は約2400万人です。ヨーロッパ各国およびUSAに次いで観光客が多いのが日本で、アジアでナンバーワンです。昨年は年間30万人の方々がいらっしやっています、今年度も9月まででは前年を30%上回る状況です。またその目的としてはガウディ、サグラダファミリアといった歴史・文化的観光、さらにはガストロノミーに興味を抱かれているようです。使っていただく金額が全平均のほぼ3倍というところにも興味あるポイントへの強さが伺えるのと思います。また半数以上の方々がカタルーニャを2回、あるいは3回と訪問されているんです。

AMICS 観光シーズンとしてはやはり夏場ということになりますか？

チャコン そうですね。カタルーニャへの観光客は7~9月に集中します。これが課題の一つ「シーズンの集中」です。ただ日本からいらっしゃる方々のユニークなのは、どの季節も平均していらっしやるところですね(図参照)。というよりむしろ4~6月、10~12月の方が夏

Japanese visitor - Compensate seasons



を上回る傾向にあるんです。これは個人的な感想ですが、日本の方は生まれながらに四季を楽しむという感性をお持ちなので、季節折々のカタルーニャに目を向けていただける可能性が高いのではと見ています。

AMICS なるほど。複数訪問、強い興味ポイントと目的、季節の受容性など、まさしく当協会の会員の方がそのままあてはまりそうな傾向ですね。2度、3度となればバルセロナだけでなく周辺エリアにも脚を伸ばせそうです。

チャコン そうなんです。シーズンの集中以外のもうひとつの課題が「エリアの集中」です。現状ではほとんどの旅行者はバルセロナと15キロ圏内の海岸線に集中しています。バルセロナから一歩踏み出してみてくださいと、ジローナ、タラゴナ、モンセラート、リエイダ、カダクセスなど、それぞれが歴史・文化、ガストロノミー、そして自然を楽しませてくれるはずなんです。先ほどこのAMICSを拝見しましたが、シェフのジョゼップ・バラオナさんの出身地であるリエイダもそのひとつですね。カタルーニャ州きっての農業地帯の魅力に満ちていますよ。今回、お披露目するVRゲーム「レジェンド・オブ・カタルーニャ」は、それらの土地をゲームで体験という形で紹介するものです。無料の日本語版も完成しましたので、ぜひお試しになってもらいたいと思います。



AMICS 英語版を事前に拝見させていただきましたが、カン・ロカのロカ兄弟、FCバルセロナのカルラス・ブジョール等が登場していますが、ゲームの背景となっているのは「サン・ジョルディ伝説」ですね。

チャコン そうです。読者の方は良くご存知と思いますが、バルセロナの守護聖人サン・ジョルディが、ドラゴンを退治して王女を救います。剣で刺したドラゴンの赤い血から咲いた赤いバラを王女に送ったこと

から、4月23日は「サン・ジョルディの日」となって、今度は女性から男性には本を贈る日とされています。バルセロナだけを見て先ほどお話ししたように、この4月23日は観光客にとってはまだまだシーズンに入っていないタイミングですが、ぜひ体験していただきたい大事なイベントとして、観光業界の方にもご案内してしています。

AMICS 確かにバルセロナ中心部が一夜にしてバラと麦の穂、さらには無数のテントを連ねる本屋で埋まってしまうのですから、ほんとうに印象的な日ですね。さて、カタルーニャの入口としてのバルセロナですがアジア・パシフィック地域の各国、北京、ソウル、シンガポールからはいずれもバルセロナへの直行便が飛んでいます。日本からは計画されているのでしょうか。

チャコン まだ申し上げることはできませんが、近いうちにご期待に沿えるのではないかと思います。

AMICS 最後にAMICSの読者にメッセージをお願いします。

チャコン はい。読者の方々はすでに何度かカタルーニャに足を運んでいただき、バルセロナ市内での楽しみ方、バルセロナ近郊訪問の経験値をお持ちだと思います。そしてハイ・シーズンとなる6、7月~9月以外のカタルーニャもすでにご存知かもしれません。そう言った意味で私どもが描いているカタルーニャ観光の戦略プランにいちばん近い方々だとも思います。観光というジャンルにおいてもダイバーシティ(多様性)が重要だと言われますが、女性も男性も、個人でもグループでも、

シニアから若い方まで、バルセロナだけでなくカタルーニャと言う土地のさまざまな魅力と楽しみ方を実践していただけると大変嬉しく思います。

AMICS 今日はお忙しいスケジュールの中、ありがとうございます。

<AMICSの眼>

ヨーロッパでは女性関係が多いのは、対話・対人能力に秀でているからなのかなと感じた。彼女の説明する観光戦略実現のためには、日本からバルセロナへの直行便を是非ともはやく実現させてもらいたい。VRゲームで若い層を掘り起こしたいという狙いはわかるが、日本から時間、お金、目的も揃えて多様なカタルーニャに足を運べるのは、残念ながら若者ではないこと。そのための施策が重要であることもお伝えした。

(取材/文 原正彦)

データ資料・ゲーム画像: カタルーニャ州政府観光局

Maria Àngels Chacón i Feixas

カタルーニャ州イグラダ市生まれ。バルセロナ大学法学部卒業。イグラダ市市会議員、第一副市長を経て、2017年カタルーニャ州政府企業知識省工業局長。2018年より現職。

カタルーニャの美しい村 第二回

Camprodon / カンプロドン 中世石造りの橋と修道院

カタルーニャ側のピレネー山脈にジローナ県リポリエス(Ripollès)地方がある。この地方で最も大きな村「カンプロドン」は、テル(Ter)川とリトー(Ritort)川の合流地点に位置し、風光明媚な景色と歴史的建造物が楽しめる場所として、特に山歩きを趣味にする人々から愛されている場所の一つである。

この村は10世紀に建てられたサンベドロ修道院が丸い土地に隣接していたことから、修道院が「丸い土地」(Campo Redondo、カタルーニャ語でCamp Rodó)が訛ってカンプロドンと呼ばれるようになったという。大きな中世市場が開かれて栄えていたが、15世紀以降はスペインとフランスの間で繰り返される数々の戦争によりフランス軍から幾度となく襲撃を受け、非常に大きな打撃を負った。そして20世紀になってようやく経済的にも社会的にも安定を取り戻し、ブルジョワジー達の避暑地として人気が高まるようになった。

カンプロドンには古い城や要塞など、遺構がたくさん残されている。中でも村のシンボルは、テル川に架けられたポン・ノウ(Pont Nou「新しい橋」の意味)。この石造りの橋は12世紀のもので、カタルーニャ建築遺産と国の重要文化遺産に指定されている。村の名前の由来となったベネジクト派のサンベドロ修道院は絶対に訪れるべき観光スポットである。ロマネスク建築様式の修道院は950年に当時のバルセロナ伯爵が建設を命じたと言われている。その後900年にわたって多くの修道士達が活動を行ってきたが、数々の戦争や教会内の紛争を経て、1835年には修道院としての機能を失ってしまった。現在は修復が行われ、事前に連絡



すれば訪問できる。

作曲家およびピアニストのイザック・アルベニス・ミュージアムもクラシック音楽好きの人には外せない場所であろう。1860年にカンプロドンで生まれたアルベニスは4歳からピアノを弾き始め、その才能を開花させ、ブリュッセル王立音楽院で学び協奏曲やピアノ曲、そしてサルスエラをはじめとする数々の歌劇の作曲を手がけた。おそらく国際的に活躍した初のスペイン人作曲家である。毎年夏にはミュージアム主催のアルベニス音楽フェスティバルも開催されている。

特産品では、豚の腸詰めが定評あり、特に「ブイ」(Bull)と呼ばれる白い腸詰めは有名である。その他に、1893年創業のビスケットメーカーBirbaのロゴには前述のポン・ノウの絵が描かれていて、素朴な味のビスケットはお土産にいい。

バルセロナから130km、車で約2時間の距離にあるカンプロドンは、バスや電車でもアクセス可能である。バルセロナからの日帰り旅行に最適な村として、ぜひ足を運んでみたい。